学校番号	123

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ステップアップ高校スポーツ２０１７　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組みを工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート	ノート レポート 体育理論のテスト	技能観察 ノート	ノート レポート 体育理論のテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 新体力テスト 体力を高める運動	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 レポート

1学期	球技	ネット型 テニス バドミントン ゴール型 サッカー	○	○	○	○	球技 a:球技に主体的に取組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができている。 b:豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して、課題の設定の仕方、自己や仲間、チームの課題に応じた練習計画の立て方や作戦の立て方などの運動を継続するための取組み方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにしている。 d:技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取組み方を工夫できている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

1学期	水泳	水泳 複数の泳法で長く泳ぐ	○	○	○	○	a:水泳に主体的に取組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができている。 b:豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して、課題の設定の仕方、自己や仲間の課題に応じた練習計画の立て方や競泳の仕方などの運動を継続するための取組み方を工夫することができている。 c:次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法の効率を高めて、泳ぐことができている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組み方を工夫できるようにする。	受講態度の観察 レポート 技能観察

1学期	球技	ネット型 バレーボール	○	○	○	○	a:学習に主体的に取組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、競技のルールや審判の判定を遵守しようとすること、試合後にお互いを讃え合うなどのマナーやフェアプレイの考え方を大切にしようとすること、互いの技術の上達に向けて助け合い高め合おうとすること、審判や記録などの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、チームの作戦や戦術の話合いでは，自分の意見や仲間の意見を調整して合意形成に貢献しようとすることができるようにしている。 b:自己の課題を解決するとともに生涯を通してこれらの知識を活用し、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組立てなどができている。 c:個人の技能に応じてクラブ操作ができるようにする。その際、静止したボールをクラブで打ち進め、定められたカップにより少ない打数で入れることを競い合うゴルフの特性を踏まえ、距離や場面に応じたクラブ操作を中心に取り扱えている。 d:技術、戦術、作戦及びその高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、審判法や競技会の企画・運営の仕方、初歩的な指導法、運動観察や動作分析の仕方などを理解することができている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

2学期	球技	ネット型 卓球 テニス ゴール型 バスケットボール アルティメット	○	○	○		a:球技に主体的に取組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができている。 b:豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して、課題の設定の仕方、自己や仲間、チームの課題に応じた練習計画の立て方や作戦の立て方などの運動を継続するための取組み方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

2学期	球技	ネット型 バレーボール	○	○	○		a:球技に主体的に取組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができている。 b:豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して、課題の設定の仕方、自己や仲間、チームの課題に応じた練習計画の立て方や作戦の立て方などの運動を継続するための取組み方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

2学期	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 ・スポーツ振興のための施策と諸条件 ・スポーツと環境	○	○		○	a:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取組もうとしている。 b:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、言ったり書きだしたりしている。	受講態度の観察 レポート
3学期	球技	ネット型 サッカー 卓球 ゴール型 バスケットボール	○	○	○		球技 a:球技に主体的に取組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができている。 b:豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して、課題の設定の仕方、自己や仲間、チームの課題に応じた練習計画の立て方や作戦の立て方などの運動を継続するための取組み方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。